

# はがの文芸

サークルなどで活躍されている皆さんの作品をご紹介します。

## 短歌

黄葉のいちようの本々に薄陽さしまだらに残る霜月の雪  
早稲田 喜久枝(八ツ木)

山里の廃校となりし学び舎は秋日を受けてひとり佇む  
丸山 芳江(祖母井)

## 俳句

冬耕を終へて田畑の深眠り  
小林 元子(東高橋)

そぞろ行く足元照らす寒の月  
塙 テル(祖母井)

## 川柳

変化する世界経済目がまわり  
磯 エツ子(稲毛田)

白い息吐いて寒さを計り行く  
小林 正孝(祖母井)

永久に旅立つ友を見おくれり  
黙せば遠き笑顔浮き来る  
荷見 泰一(芳志戸)

言葉より笑顔が先に綻びて  
久しく会いし級友二人  
柳 慶子(与能)

寺の子の一番手なる除夜の鐘  
福武 幸子(下延生)

茶畑の霽かがやく初日の出  
板橋 晴子(西水沼)

人情で田舎芝居が人を呼び  
七井 章治(与能)

人情の機微がふれあうボランティア  
長谷川 攻(稲毛田)

## 芳賀町人発見!



正月飾り作り  
齋藤 良弘さん (63歳・東水沼)

正月とは、一年の初めに、その年の豊作や家内安全などを約束してくれる年神様を家に迎え、祝うことです。門松やしめ縄は、年神様を歓迎する意味が込められています。

齋藤さんは、米作り、玉ネギ、シイタケの栽培をしながら、30年以上正月飾りの制作に取り組んでいます。当初は、ご自身の趣味として始められたとのことですが、今では、道の駅での販売や個人、神社など各方面から制作を請け負っています。稲わらは、空調管理ができる冷暗所に保管。松は畑で育てたものを使用するなど、材料の保管や質にもこだわっています。作業にあたっては、神聖な場所に飾ることから、集中して無心になって行うことを心がけているとのこと。

平成20年頃から始まったロマンの湯に納める大がかりな正月飾りは、来場者を魅了しています。どのような干支飾りにするか、齋藤さんご家族、パートさんが一致団結してアイデアを練り、制作に取り組んでいます。また、与能自治会のしめ縄作りの講師も務められています。そこには、親・子・孫がしめ縄作りを通じてコミュニケーションを深めるとともに、年々、正月の伝統的風習が薄れていく中で、正月行事に関心を持ってもらいたいとの齋藤さんならではの思いがあります。これからもすてきな正月飾りを作ってください。



### 愛改さんの自慢レシピ

## ヘルシーティラミス

栄養価(1人当たり)  
エネルギー 213kcal  
たんぱく質 4.6g  
脂質 10.8g  
塩分 0.2g

●材料(8人分)  
プレーンヨーグルト.....400g  
ホイップクリーム.....100g  
砂糖.....5g  
メープルシロップ.....50g  
＜コーヒー液＞  
インスタントコーヒー.....小さじ1と1/2  
湯.....100ml  
厚切りパウムクーヘン(市販).....8個  
ココアパウダー.....適量

●作り方  
①プレーンヨーグルトは、キッチンペーパーを敷いたザルにのせ(ザルの下にはボウルを重ねます)、冷蔵庫で一晩水切りをします。  
②ボウルにホイップクリームと砂糖を入れ、泡立えます。  
③水切りしたヨーグルトにメープルシロップを加えて混ぜ合わせます。泡立えたホイップクリームも加えて混ぜ合わせます。  
④コーヒー液を作り、厚さを半分にしたパウムクーヘンを浸します。  
⑤皿に④をのせ、③をかけ、ココアパウダーをふります。

## わが家のオンリーワン

あなたのかわいいペットを紹介します。

左: **クールちゃん**(ビション・フリーゼ、9歳、メス)  
右: **ジルちゃん**(ビション・フリーゼ、7歳、メス)  
大門 心さん(ハツ木)

写真を撮られるのが大好きな2匹。カメラを向けると「はい、ポーズ♪」活発なクールとおっとりしたジル。2匹はいつも一緒です。

●応募方法 情報広報係へご連絡ください。  
●必要事項 動物:名前・動物の種類名(例…柴犬、三毛猫)・性別、飼い主:氏名(フルネーム)・住所(大字のみ掲載します)・電話番号(掲載はしません。掲載事項に関して確認が必要な場合、係からご連絡します)

企画課情報広報係 ☎028(677)6099

## あなたの声を聞かせてね! お便り待ってます!

●身近な出来事や町に関する要望・意見

### 高松イクさんからの投稿

平成28年12月6日、芳賀町赤十字奉仕団団員日帰り研修会が行われ、東京に行ってきました。東京臨海広域防災公園で災害の学習でした。「災害は忘れた頃にやってくる」と申しますが、東日本大震災からまもなく6年になろうとしています。体験から恐ろしかったあの3月11日を思い出し心が引き締まる思いでした。「しっかり備えをしていますか?」との質問の中にまだ準備をされていない方もいました。家具の固定・非常食の準備・貴重品の確認など...災害の無いことを望みますが、万が一起きてしまった時に備えの再確認が必要と思いました。災害大国日本では、防災教育は大切で取り組む学校も多く、小学生たちが熱心に説明を聞いていました。「忘れない あの瞬間の あの恐怖 備えの心 再確認で」

### はがまるくんからの投稿

LRTの動画を作成したよ!!  
芳賀チャンネルや町のホームページで見られるので、ぜひチェックしてね♪

右上/皐月さん(稲毛田)  
左上/高松イクさん(下高根沢)  
左下/鈴木モコさん(西高橋)